

Campus Life

No.165 2011.8



提携校 ストニーブルック大学の学生が書道体験(三島キャンパスにて) 三島キャンパスの桜(平成23年4月撮影)



Introduction

- 2 学部長挨拶
- 3 学祖 山田顕義について
- 4 国際交流関連
- 7 学科だより
- 11 教員紹介・年間行事予定
- 12 特集ページ
- 13 就職関連

ティーチング・インターンシップ（ニュージーランド）



学部長あいさつ

夢に生きよう

国際関係学部長

佐藤 三武朗

私は、「夢」という言葉が好きです。

若者は、夢に生きています。若い皆さんが世界の若者と夢を語り、世界と日本の架け橋になって欲しいと心から望みます。皆さんが世界の若者と対話する歓びを味わえるように、私たち日本大学国際関係学部の教職員は一丸となって頑張ります。

日本大学国際関係学部は、日本で最初の国際関係学部として、昭和54年に三島の地に産声を上げました。

民族・宗教・国境の壁や、思想・習慣の違いを越え、世界の人々が健やかに暮らす世界こそ理想です。どうしたら経済的・政治的な格差を無くすことができるでしょうか。人口問題・環境問題・自然破壊の課題を解決できるでしょうか。

三島キャンパスに学ぶ学生は、語学を武器に、専門知識を身につけ、国際社会が直面する課題の解決に取り組んで欲しいと思います。

三島キャンパスでは、本学部を会場として、6月に第6回食育推進全国大会を開催しました。全国から7万人が三島を訪れました。3月11日の東日本大震災に際しては、ボランティア活動を行いました。義援金を募り、被災地に送りました。

本学部は多くの奨学金を用意しています。新幹線通学者や下宿生、生活困窮者への支援などの制度があります。本学部の学生は人を思いやる精神、気遣いの心が実に旺盛です。

一緒に、「夢」を追い求め、青春を彩ろうではありませんか。

学祖 山田 顕 義 (1844～1892)



日本大学は、明治22年（1889年）に創立された日本法律学校を前身とします。欧米法教育が主流であった当時、日本の法律を学ぶ学校の創立は、大いに独自性を発揮しました。この創立に際して中心的な役割を果たしたのが、時の司法大臣山田顕義で、現在、日本大学では山田顕義（やまだあきよし）を学祖と位置づけています。本ページでは、政治・教育・軍事と幅広い分野で実績を残した山田顕義の生涯についてご紹介します。

1 松田松陰の薫陶

山田顕義は、1844年（弘化元年）、長州藩の城下町萩（現・山口県萩市）で誕生、幼名は市之允と称しました。14歳で吉田松陰の松下村塾に入門し、高杉晋作・久坂玄瑞・伊藤博文など、幕末から明治期にかけて活躍した人物らと共に研鑽を積みました。

2 戊辰戦争での活躍

青年期を迎えた山田顕義は、大村益次郎から洋式兵学を学びました。幕末に戦闘が絶え間なく続いた長州藩において、蛤御門の戦い、幕長戦争などで指揮官の能力を発揮した顕義は、新政府軍の参謀として戊辰戦争で大きな功績を挙げました。

3 欧米視察

大村益次郎の遺志を継いで日本近代陸軍の創設に尽力した山田顕義は、明治4年（1871年）に岩倉欧米使節団の一員として欧米諸国を歴訪します。海外の先進技術や文化を目の当たりにした顕義の欧米体験は、その後の人生を大きく変えることとなります。

4 司法への道と法典編纂

欧米列強との条約改正交渉を進めるためにも、近代法整備事業は明治政府の急務でした。明治7年（1874年）に司法省に出仕した山田顕義は、こののち、各種法典の編纂事業に尽力し、明治18年（1885）には、日本で最初の司法大臣に就任しました。

5 日本法律学校の創立

大日本帝国憲法が公布された明治22年（1889年）、欧米諸国の法律だけではなく、日本の法律を教授する学校の必要性が高まりました。山田顕義は、宮崎道三郎や金子堅太郎らとともに日本法律学校創立に深く関わることとなります。

日本大学HP日本大学の歴史／学祖（http://www.nihon-u.ac.jp/about_nu/history/founder/）より引用いたしました。

関連文献

佐藤三武朗『日本巨人伝 山田顕義』講談社 2011
日本大学編『山田顕義』1963

史跡墓所等

山田顕義誕生地：顕義園（山口県萩市）
墓所：大本山・護国寺（東京都文京区）
官軍上陸の地碑（北海道西部乙部町）

日本大学中期留学生

国際関係学科 3年 荒木 恒

私は2010年夏から約7ヶ月、アメリカのウィスコンシン州にあるセント・ノーバード大学（St. Norbert College）に留学させていただきました。

ウィスコンシンは、夏は涼しく快適ですが、冬になると氷点下以下は当たり前という寒さが厳しい土地です。授業は主にWriting、Listening、Reading、Speaking、と分かれており、すべて英語で授業が行われるわけですが、クラスは少人数だったので先生との距離が近く、質問しやすい環境で学ぶことができました。宿題はとても多かったですが、この大学の図書館は夜一時まで開いており、他の学生も真剣に勉強しており、本当に素晴らしい環境で勉強ができるなと感じました。また、この大学で多くの違う国々の留学生とも出逢えることができました。アメリカ以外ではサウジアラビア、韓国、中国、フランス、コロンビアなど世界中から来ており、たくさんの尊敬できる友達を作ることが出来ました。

今回の留学を経験して、多くの人々と出逢えたことが私の一番の財産です。違う国の人々と「英語」という一つの言語を用いて話せる喜び、多くの人々と文化について話したり、冗談を言ったり、会話の数だけ思い出は増えていきました。日本にいた頃は自分自身将来どういう仕事をしたいかわかりませんでしたが、今回の経験で将来自分が目指すべき方向が少し明確になり、私に大きな目標をくれた留学でもあったと思います。

最後に、この留学を支えてくれた日本大学とすべての人に感謝という言葉を伝えたいです。本当にありがとうございました。



短期海外語学研修実施地域：国際関係学部

地 域	研修予定地	実施予定日
アメリカ	ニューヨーク州立ストーニーブルック大学	平成23年 7月30日(土)～平成23年 8月19日(金)
アメリカ	テキサス・インターナショナル・エデュケーション・コンソーシアム	平成24年 2月10日(金)～平成24年 3月12日(月)
中国	北京大学 国際関係学院	平成23年 8月 1日(月)～平成23年 8月31日(水)
ニュージーランド	ウェスタン・インスティテュート・オブ・テクノロジー・アット・タラナキ (WITT)	平成23年 8月23日(火)～平成23年 9月20日(火)

短期海外語学研修実施地域：短期大学部

地 域	研修予定地	実施予定日
アメリカ	ハワイ大学	平成23年 7月31日(日)～平成23年 8月17日(水)

[中期留学] (対象：国際関係学部)

国名	留学先	留学期間	募集時期 (予定)
アメリカ	セント・ノーバート・カレッジ	平成24年 8 月～平成25年 3 月	平成23年11月～ 平成24年 4 月中旬
インド	ゴア大学	平成24年 9 月～平成25年 2 月	
中国	北京大学国際関係学院	平成24年 2 月～平成24年 7 月	平成23年10月～ 平成23年12月上旬
タイ	アサンプション大学	平成24年 3 月～平成24年 9 月	

[派遣交換留学] (対象：国際関係学部)

国名	留学先	留学期間	募集時期（予定）
アメリカ	セント・ノーバート・カレッジ	平成25年 1 月～平成25年12月	平成24年 4 月～ 平成25年 5 月中旬
アメリカ	ニューヨーク州立 ストーニーブルック大学		
アメリカ	フェリシアン大学		
アメリカ	モンタナ州立大学		
オーストラリア	マッコーリー大学	平成25年 2 月～平成25年12月	
ニュージーランド	W I T T		

[ジョイント・ディグリー・プログラム] (対象：国際関係学部)

国名	留学先	留学期間	募集時期 (予定)
アメリカ	ニューヨーク州立 ストーニーブルック大学	平成24年 8 月～平成26年 7 月	平成23年 9 月～ 平成23年12月上旬

[ティーチング・インターンシップ] (対象：国際関係学部)

派遣先	派遣期間	募集期間 (予定)
アメリカ、ニュージーランド、 オーストラリア	平成25年 2 月～ 平成25年 4 月上旬	平成24年 4 月～ 平成24年 5 月中旬

この他に日本大学全学の海外研修・派遣交換留学生につきましても、本学部にて募集します。

各プログラムの募集は学内掲示板でお知らせします。

各留学プログラムは、外務省の海外安全情報に基づき、国際紛争、テロ、災害、及び人為的、不慮不可抗力による事故等の発生により、渡航または現地での滞在に危険があると判断された時は、募集並びに派遣を中止または途中で帰国させる場合があります。

また、ティーチング・インターンシップ及び中期留学、派遣交換留学、ジョイント・ディグリー・プログラム等の学内プログラム留学に関する相談は、13号館 1 階国際教育センターで対応しています。

短期海外研修については 4 号館 1 階学生課が対応窓口になっています。

海外ゼミナール（ネパール）

青木千賀子ゼミナール 国際交流学科3年 山田美咲

皆さんは、ネパールというと何を思い浮かべますか？ 私は、研修に行く前は、発展途上国、ヒンドゥ教によるカースト制度、男女格差…と、正直、負のイメージしかありませんでした。そんな不安な気持ちでネパールへ向かったのですが、ネパールでは日本でなくしかけている“大切なもの”をたくさん見つけることができ、学びの多い研修になりました。

ゼミでは、主に社会開発とジェンダー、教育について研究しています。ネパールはカースト制度が根強く残り、中でも女性は厳しい状況に置かれています。電力不足からくる計画停電、不衛生な水、大気汚染など、また、初等教育も十分に受けられなかった人や、ストリートチルドレン、人身売買の被害にあった女性達など、驚きの連続でした。

しかし、出会ったたくさんの人々は大変親切で、特に思い出深い体験は、ダリットというカースト制度で最も底辺とされている人々の暮らす村に2泊3日のホームステイをした時の事です。家の中で家畜と共に住み、もちろんガスは無く、料理は薪で調理していました。壁は土で作られており、水道は近所の家と共同のものが4～5軒ずつに1つあるだけという現状でした。彼らは私達に精一杯のもてなしをしてくれました。そして、その村で見上げた満天の星空の美しさは、一生忘れられない思い出となりました。停電で真っ暗だからこそ、味わえた感銘だと思います。

ネパールで一番強く感じたのは、人と人との繋がりの強さで、特に家族の絆でした。家族全員で家事をし、一人一人の話を耳を傾けながら食事をし、一緒にいる喜びを分かち合っている、そんなぬくもりのある家族の姿がありました。日本でも東日本大震災後、人と人の繋がりの大切さが見直されてきていますが、「本当の幸せとは何か、豊かさとは何か」、その問いをあらためて考えさせられる経験となりました。



ネパール・カトマンズ(世界遺産ボダナート寺院)にて

平成23年度国際関係学部海外ゼミナール

引率教員	研修先（国名）	研修期間（予定）
青木千賀子 教授	ネパール	平成23年9月5日(月)～平成23年9月13日(火)
岡本 博之 教授	アメリカ合衆国	平成23年9月12日(月)～平成23年9月20日(火)
小代有希子 教授	北マリアナ連邦	平成23年9月5日(月)～平成23年9月11日(日)
呉 川 教授	中華人民共和国	平成23年12月20日(火)～平成23年12月26日(月)
角田 哲康 教授	スペイン・オランダ	平成23年9月4日(日)～平成23年9月17日(土)
高橋 章 教授	アメリカ合衆国	平成23年9月8日(木)～平成23年9月15日(木)
高橋 公雄 教授	アイルランド共和国	平成23年9月1日(木)～平成23年9月16日(金)
豊川 和治 教授	シンガポール共和国	平成23年9月12日(月)～平成23年9月19日(月)
福井 千鶴 教授	ブラジル・パラグアイ	平成23年8月26日(金)～平成23年9月16日(金)
宗形 賢二 教授	アメリカ合衆国	平成23年9月12日(月)～平成23年9月19日(月)
安元 隆子 教授	ロシア連邦	平成24年2月28日(火)～平成24年3月6日(火)
寛 正治 准教授	マレーシア・タイ	平成23年9月12日(月)～平成23年9月20日(火)
陳 文挙 准教授	中華人民共和国	平成23年8月8日(月)～平成23年8月17日(水)
富岡 丈朗 准教授	タイ・カンボジア	平成23年8月26日(金)～平成23年9月3日(土)
熊野留理子 助教	アメリカ合衆国	平成24年2月26日(日)～平成24年3月2日(金)
武井 勲 助教	アメリカ合衆国	平成23年12月28日(水)～平成24年1月6日(金)
蓼沼 智行 助教	韓国	平成23年8月31日(水)～平成23年9月4日(日)

国際総合政策学科

本年度新たに開設された本学科は、新しいカリキュラムに基づき順調に授業を開始しました。特に、全学部共通科目として始まったスタディスキルズでは、各クラス少人数で、勉学の基礎を丁寧に学んでいます。6月の授業では、佐藤三武朗学部長の日本大学学祖山田顕義に関する特別講義で建学の精神を学びました。後期には、キャリアデザインが始まります。これは、各自が一生涯の職業をどう選んだらいいのかを、自ら考える新しいタイプの授業です。今年は、この他に1年次の外国語、スポーツ、基礎科目等を学びますが、来年度（2年次）からは、専門の3コース（国際関係、国際ビジネス、国際協力）に分かれて、より高度で専門的な勉強に進むことになります。



スタディ・スキルズ講演会

国際教養学科

今年4月に、いよいよ国際教養学科がスタートしました。21世紀の国際社会に対応すべく、本学科は、「国際文化コース」と「コミュニケーションコース」の2コースを設置し、真の「国際教養人」の育成を目指します。国際教養学科では、世界の主要文化と日本文化に関する多角的な研究を通して、異文化に対する深い理解と国際的な広い視野を身につけるとともに、自文化と自分自身を世界に発信することのできるコミュニケーション能力を培います。

まず1・2年次に、英語をはじめとした主要言語を集中的に学習。さらに「国際文化コース」では、芸術・思想・歴史・宗教・伝統文化などを学際的に学び、また「コミュニケーションコース」では、コミュニケーションツールとしての言語だけでなく、実践的なフィールドワークの方法を習得します。小中高の教員免許取得コースもあります。本年度は、各界で活躍されている方々を講師として招聘し、年数回の講演会を開催する予定です。さらに本年度も、国際教養学科に所属するスタッフによる、アメリカ合衆国、スペイン、オランダ、アイルランド、中華人民共和国、ロシア連邦、ネパールなど、世界の多様な文化を体験する海外ゼミナールを計画しています。



海外ゼミナール (安元ゼミ)

国際関係学科

本年度の新学科開設に伴い、国際関係学科は2年生から4年生までが、定められたカリキュラムに基づき授業を実施しています。昨年度（22年度）は、角田、呉ゼミナールが、それぞれスペインと香港・マカオに海外ゼミ研修を実施しました。11月には学術講演会を実施しました。警察庁警備局から清警視正に来て頂き、国際テロの現状を現場での対策を含めて講演して頂きました。同じく11月に、23年度開設予定のゼミナール履修ガイダンスを、国際文化学科と合同で実施し、本年4月から、順調にゼミナールを開始しています。

本年3月の卒業生は、商社、金融、旅行社、メーカー等の企業や、県庁、市町村役場、警察官、自衛官、消防官等の公務員として活躍しています。



学術講演会

国際文化学科

今日、自らの伝統文化に目を向けつつ、異なる文化を正しく理解し、互いの文化的相違を尊重しあう共生の精神が求められています。国際文化学科では、世界の主要地域と日本の文化に関する多角的な研究を通して、国際的な広い視野を身につけた文化交流のエキスパートを育成します。

本学科には、①アメリカ文化コース、②ヨーロッパ文化コース(ドイツ・フランス)③中国文化コース、さらに④日本文化コースの4コースが設置されています。1・2年次に、主要地域の言語を集中的に習得し、さらに、世界中の多様な文化を客観的に比較対照するために、各地域の芸術・思想・歴史・宗教・伝統文化などを学際的に学びます。

本年度は、すでに二回の学術講演会を開催。5月には「広告会社と映像ビジネス」という演題で、日本の広告会社の現状と東日本大震災以降のメディア環境についてお話を伺い、7月にはイリノイ大学日本館館長をお招きし、今後どのように日本文化を海外に紹介したらよいか、学生自身の考える機会を提供していただきました。また、日本文化を体験するため、6月に第1回学外研修として、新橋演舞場において歌舞伎鑑賞会を実施しました。さらに第2回学外研修では、日本を代表するミュージカル『美女と野獣』に直に触れる機会を設ける予定です。



学外研修(歌舞伎鑑賞会)

国際交流学科

国際交流学科は“日本と国際社会の懸け橋に必要な共生思想と実務能力を育成”することを目標としています。そのため、1年次には「国際関係論」「国際文化論」といった国際社会研究の導入部分を学び、2年次からは「国際交流論」「文化交流論」「国際協力論」等を、そして3年次には「国際交流研究」をテーマに、生活文化や言語・文学、芸能・芸術、経営、科学技術など多角的な側面から研究を進めると共に、「NGO/NPO論」や「交流マネジメント論」などにより国際交流のあり方を実践的に学びます。

5月の学科学術講演会ではJICAを通じた国際交流の実践について知見を深め、6月にはMOA美術館で能・狂言の鑑賞会を行いました。夏休み中にはネパール、サイパン、アメリカ合衆国等での海外ゼミ合宿が行われます。さらに後期には、10月の国連デーの学術講演会、11月の下田でのEnglish Tour、12月のフィールドワーク発表会と、机上の学問研究のみならず、実践的に異文化を幅広く、深く理解し、国際交流に必要な実務能力を確実に養います。



学外研修(文楽鑑賞教室)

国際ビジネス情報学科

国際ビジネス情報学科では、国境を越えた企業活動の広がりを多角的に捉え、国際社会の向かう方向に即した教育に力を入れています。「国際経済学」、「国際金融論」などの授業を通じた基礎的な知識の習得、情報処理能力など社会で活動するための基本的スキルの習得、さらに企業インターンシップ等の実践的なカリキュラムにより社会で即戦力となる力を身につけ、専門知識を生かして将来の国際ビジネスを創造する能力と実行力の育成につなげていくことを目指しています。企業インターンシップでは、企業で一定期間実務に従事し、社会の様々な場面で活動している企業の仕事を実際に体験し学ぶもので、23年度も50名以上の学生が、製造業、サービス、金融、行政等の企業において実習を行う予定です。

その他ゼミナール等において実習の機会も豊富に用意されており、国内外の企業で、世界を舞台として活躍できる人材を育成しています。卒業生は、金融機関、航空会社、商社、メーカーなどの企業や公務員として活躍しています。



学術講演会

商経学科

商経学科は、商学と経済学をベースに2年間の学びで社会人として働くための知識とスキルを身につけることを目的とした学科です。キャリア形成に役立つ資格の取得にも力を入れており、授業と連動した形で各種検定試験の指導が行われています。インターンシップも充実しており、多くの学生が将来の夢に向けて企業や行政の現場で経験を積み、社会人としての必要とされる考え方やマナー等を身につけています。

短期職業人育成が商経学科の基本ではありますが、短大卒業後に編入学制度を活用しさらに専門的な勉強を志す者も数多くいます。編入試験に欠かすことのできない英語の習得は、ネイティブ教員中心に実施し、能力別クラス編成で成果を上げています。正規の授業以外にも編入対策講座を実施し、小論文の書き方を中心に指導しています。

多様な目的を持って入学した学生に対し、「スタディスキルズ」や「ゼミナール」の担当教員はそれぞれの確な指導を実施しています。「スタディスキルズ」では大学での学びについて考え、そのノウハウを身につけるとともに、早期に自らの進路を決定するためのアドバイスも行っています。「スタディスキルズ」の一環として実施される学術講演会は、卒業後の進路を考える場合の参考となるようなテーマを設定しています。平成23年度は「人材から人財へ：～業種の違いを超えて求められる3つの資質」と題する講演を実施しました。



学術講演会

食物栄養学科

● 1年生学生生活サポート研修・学外研修

食物栄養学科では、新入生の授業履修や学生生活がスムーズにスタートできるようにサポート研修と学外研修を例年5月に行っています。本年度は、5月15日(土)に、午前中はヤクルト富士裾野工場を訪問し、乳酸菌を利用した健康食品の製造過程や衛生管理、さらに微生物と人の健康とのかかわりについて学びました。その後、御殿場市の東山荘(YMCA)に移動し、昼食に自慢の御殿場カレーをいただいた後、グループに分かれ2年生と専攻科生がリーダーとなり、学生生活や勉強について意見交換が行われ、最後にグループ討議の内容について発表を行いました。クラスを超えて学生間のつながりもでき、有意義な研修になりました。

● 2年生学外研修

6月19日(土)2年生を対象とした学外研修が行われました。「食に関する専門的知識を深めるための研修」と位置づけ、沼津市の内浦漁業協同組合長から駿河湾の漁業や魚の養殖について説明を受けた後、船に乗船して実際に養殖生け簀に行き、マダイやクロダイ、イサキが養殖されている様子を見学しました。さらに、伊豆・三津シーパラダイスに飼育展示されている駿河湾産魚介類の生態や特徴、さらに水族館の果たす役割などについて説明を聞きながら展示されている水槽一つ一つの魚介類を見学しました。身近な駿河湾の魚介類が地域の食生活に活用されていることなど新たな知識を得ることができました。その後、今年は特別に内浦漁協にお願いし、漁協自慢の「駿河湾のおさかなランチ」を2階会議室を貸し切っていたいただきました。出来立ての“ひもの”や地魚のさつま揚げ、さらにネンブツダイの唐揚げなど海の幸を満喫しました。



学外研修(ヤクルト工場見学)



学外研修(伊豆・三津シーパラダイス見学)

専攻科食物栄養専攻

本年度は、前述の第6回食育推進全国大会の開催にあたり、専攻科の学生の皆さんは運営ボランティアや学生企画イベント「だしの取り方教室」「学生からの提言」「キッズエリアー食育リクリエーション」、学科紹介や食育活動・産官学活動の展示ブースなどの指導・運営において食物栄養学科を含む全学生の中心的な役割を担っていただきました。彼らの活躍で大会も大成功と、高い評価をいただきました。

食育は、あらゆる世代の国民が健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむためには、何よりも「食」が重要であるとの考えから、知育、徳育、体育の基礎となるべきものと位置付け、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができるようにすることを目的としています。国を挙げて進めているこの活動を担う人材の養成は本学科の大きな目的でもあります。専門的な授業は勿論、実社会と関わった様々な活動を所属するゼミを通して、研究や地域との連携、さらに社会に出て栄養士・管理栄養士として活躍してもらうための生きた経験を大切にしています。

本年度から、これまでの強化講座を充実し管理栄養士国家試験対策室が立ち上がりました。周年を通して、在学生および卒業後1～3年程度の卒業生を主な対象として、空き時間や就業後(午後4時～)の時間を利用して専任教員による全分野を網羅する専門講座を受講したり自習を行ったりする環境が整いました。さらに、専攻科修了後、管理栄養士国家試験に必要な1年間の栄養士実務経験を、大学の学食を運営する専門業者に優先的に採用(3社各1名)をお願いし、仕事と受験のための学習が両立できるようになりました。

勉学に加え、学士(栄養学)取得のための研究活動や(独)大学評価学位授与機構の試験に向けた取り組みに、全員頑張っています。



第6回食育推進全国大会にて

● 新幹線通学奨学金・1人暮らしサポート奨学金

日本大学三島後援会からの支援を受け、自宅通学不可能な学生に対して下宿・アパートの補助、遠隔地からの新幹線通学者の学生に対しての新幹線通学補助を選考により奨学金として給付する。

◎春期：募集人員 下宿補助、新幹線補助併せて50名程度 春・秋毎の応募可

◎秋期：募集人員 下宿補助、新幹線補助併せて50名程度 春・秋毎の応募可

詳細は本学部ホームページまたは、学生課へお問い合わせください。

日本大学では東日本大震災で被災された学生に下記の特別措置をしています。

● 福島第一原子力発電所事故に伴う学費減免等の特別措置について

東日本大震災で被災された皆様、またその後起こった福島第一原子力発電所事故により避難を余儀なくされている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

日本大学では、今回の福島第一原子力発電所事故に伴う避難措置により、在学生の方々が勉学の機会を失わないよう、下記のような措置を講じることにいたしました。

1 特別措置

本学（大学院、短期大学、学部附属専門学校及び付属高等学校含む）の在学者（新入生含む）のうち、福島第一原子力発電所から半径20km圏内の「警戒区域」に住居があり、ご父母等学費支弁者の方が避難生活を送られている場合、また「計画的避難区域」に住居があり、ご父母等学費支弁者の方が避難生活を送ることになった場合の特別措置

① 授業料等について

「福島第一原子力発電所事故に伴う授業料等特別措置申請書」（別紙）及び「福島第一原子力発電所事故に伴う入学金等特別措置申請書」（別紙）と罹災証明書・被災証明書(写し可。相当する書類でも可)の提出があった方について、以下の措置を適用します。また、罹災等を証明する書類が準備できない方はお問い合わせください。

なお、休学する場合についても同様の措置を適用します。

- ・平成23年度の授業料等(授業料、施設設備資金、教育充実料及び実験実習料)の半額免除
- ・平成23年度入学者については、入学金の免除

なお、避難措置が長期（10月1日以降）に渡った場合、授業料等を全額免除いたします。

② 転部・転科及び転籍について

(1)転部 平成23年度の転部料を免除する。

(2)転籍 平成23年度の転籍料を免除する。

なお、今後の状況で避難地域の見直しを行う場合があります。

2 お問い合わせ及び申請先

学生課窓口へお問い合わせください。

問い合わせ先電話番号 055-980-0804

新任教員紹介



法専充男 教授

この4月に着任し、経済学関連の授業を担当しています。専門分野は国際経済学、マクロ経済学、日本経済、アメリカ経済などです。これまで内閣府やIMFなどでエコノミストとして勤務してきた経験を生かしながら、ややとっつきにくい印象もある経済理論をできるだけ現実の経済現象と結びつけながら講義できればと考えています。広い世界のどこに出ても通用する人材がこの三島のキャンパスから巣立って行ってくれることを期待しています。



富岡 丈朗 准教授

この4月から国際交流学科・国際総合政策学科で国際協力分野を担当しています。本学の生物資源科学部OBです。卒業後は、JICAの青年海外協力隊（コスタ・リカ：3.2年）、JICAの派遣専門家（スリランカ：2年、フィリピン：2.5年）、開発コンサルタント（約35カ国：14.2年）と今年の3月まで年間平均4か月は、途上国で暮らして来ました。日本の国際協力には、多角的にかかわって来たので、皆さんにはいろんな視点からお話できると思います。国際協力に興味がある人は、気軽に訪ねて来てください。

年間行事予定（平成23年8月～平成24年3月）

平成23年

8月21日(日) オープンキャンパス
 9月2日(金) 追再試時間割発表、追再試手続
 9月5日(月) 追再試手続
 9月8日(木)・9日(金) 追再試験
 9月21日(水) 夏期休暇終了
 9月23日(金) 秋分の日（金曜授業）
 9月30日(金) 授業料振込期限
 10月4日(火) 日本大学創立記念日（休校）
 10月28日(金) 富桜祭準備（休講）
 10月29日(土)～10月31日(月) 富桜祭（休講）
 11月1日(火) 富桜祭片付（休講）
 11月19日(土) 食物栄養学科ミニオープンキャンパス
 12月26日(月) 年内授業終了
 12月27日(火) 冬期休暇開始

平成24年

1月10日(火) 授業開始
 1月14日(土)・15日(日) 大学入試センター試験（休校）
 1月18日(水)～1月20日(金) 卒業論文提出日
 1月21日(土) 食物栄養学科ミニオープンキャンパス
 1月25日(水)・26日(木) 補講日
 2月2日(木) 後期授業終了
 2月17日(金) 卒業・進級ガイダンス（予定）、
 追再試時間割発表、追再試手続日
 2月18日(土) 追再試手続日
 2月22日(水)～2月24日(金) 追再試験
 3月9日(金) 卒業決定者発表
 3月25日(日) 卒業式、学位伝達式

J R 三島駅北口から徒歩 1 分の場所に新校舎建設

三島駅北口校舎（仮称）は地上 8 階建、総面積 14,992.36㎡の校舎で、平成 24 年 4 月に完成する予定です。本校舎は機能性、利便性及び耐震性を重視し快適な教育環境だけでなく、地球環境への配慮もなされています。

校舎の概要としては、1 階部分は吹き抜けで落ち着いた雰囲気となっており、学生生活全般をサポートする事務室、コンビニエンスストアなどのテナント（3 店舗）、420 名収容の大教室があります。2 階から 6 階には少人数で受講できるゼミ室や情報処理教室など授業の形態に合わせた 39 教室があります。

また、7 階には富士山や駿河湾を一望できる学生食堂があり、昼食の一時をくつろいだ雰囲気の中で過ごせます。

その他にも就職に関する相談に親身になって対応している就職指導課や保健室があり、皆さんの学生生活がより良いものとなるようにバックアップしていきます。



三島駅北口校舎（仮称）パース

日・EU フレンドシップウィーク 2011

EU 情報センターを設置している国際機関資料室では、日本と EU の交流を目的とするイベント「日・EU フレンドシップウィーク」を毎年開催しています。

今年は、日独交流 150 周年であったため、EU 加盟国であるドイツに焦点をあて、「ドイツを知ろう！～日独交流 150 周年を記念して～」というテーマで、5 月 9 日（月）から 5 月 31 日（火）まで、展示会を開催しました。

内容は、図書館長による「ドイツ歌舞伎」の研究資料や関連図書、また、大使館や政府観光局から送付されたポスターや資料も展示しました。

今年は、新聞記事やラジオ放送の効果で、学生だけでなく、一般の方々にも多数来場していただきました。



日・EU フレンドシップウィーク

「第 6 回食育推進全国大会」本学で開催！

本学キャンパスをメイン会場として 6 月 18 日・19 日に、内閣府・静岡県・三島市の主催による「第 6 回食育推進全国大会」（ふじのくに食育フェア 2011）が、大学開催初の大会として行われました。大会は、本学キャンパスに加え、三島市立北小学校、東レ研修センターの 3 会場に分かれ行われ、本学からの学生ボランティアは、食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻から 368 名、国際関係学部・商経学科が 122 名、合わせて延べ 490 名が大会の運営に携わりました。2 日間の公式参加者数は 5 万 1 千人、さらに同時開催の B 級グルメまつり in 三島が本学・楽寿園・三島大社を会場に開催され、全参加者数は 7 万 2 千 8 百人もの参加がありました。出展ブースは 225 ブースや様々な発表や講演、有名シェフの出張料理教室など、いずれも大変盛況でした。

本学では、学生企画の発表やブース出展、キッズエリアの食育リクリエーションなど数多くのイベントに参加しました。ブース出展では、15 号館において食物栄養学科の全 10 ゼミナールの研究紹介や、地域と連携した地産地消・産官学活動に関するポスター展示、さらに、日本大学本部産官学知財センター（NUBIC）による活動報告や地域と連携し開発した商品展示や野外ブースにおいて開発中の商品展示や試食・販売を行いました。また、商経学科では伊豆マラソンの大会風景の写真やマラソン研究のポスターを展示、国際関係学部は三島北小学校体育館において、8 ゼミナールが世界各国の食文化の紹介や国際色豊かな試食が人気を集めました。加えて、1 日目には、日本大学高大連携プログラムとして、国際関係学部のダンス部によるチャリティーダンスと付属三島高校生による三島サンババージョンの農兵節を披露しオープニングを飾りました。一方、野外のテニスコートに設けられたキッズエリアでは、食育リクリエーションとして「お買い物シミュレーションゲームーめざせ！お買い物マスター！！ー」を、食物栄養学科・専攻科の学生と、付属高校の家庭科部高校生、静岡英和短大の学生さんも加わり、700 人を超える子供たちがお買い物ゲームにチャレンジしました。クリアした子供たちには特製の「ちゃっぴー風船」をプレゼントし大人気でした。



第 6 回食育推進全国大会にて

未来を切り開き、夢を実現するために充実した指導やサポートがあれば、より力強く進んでいくことができるでしょう。

国際関係学部・短期大学部（三島校舎）では、自分がやりたい仕事や適職を発見するための検査、ガイダンスや手引き書を用意するなど、段階的なキャリアガイダンスを1年次から実施。学生一人一人の将来設計をサポートします。

4月（1・2・3年生対象） 就職ガイダンス

「就職ってなんだろう?」「就職活動はどうすれば?」など基本的な疑問にも答える。就職活動の“はじめの一歩”のためのガイダンス。

5月（1・2・3年生対象） NU就職ナビ登録講座

日大生だけの就職支援サイト。登録すると、いつでもどこでもアクセス可能。企業・求人情報からセミナー・OB情報まで一挙掲載。十分に活用すれば就職活動を有意義に進めることができます。1年生から登録することで、3年後の就職活動の情報収集に役立てよう。

6月・11月・12月（3年生対象） 企業の筆記試験対策講座 （一般常識試験、適性検査、SPIテスト等）

企業が筆記試験を行う目的は2つあります。次の選考に進む人数の絞り込みと基礎的な学力や職業適性を客観的に知るためです。筆記試験に合格しなければ、次のステップの面接の機会すら失ってしまいます。学内での模擬試験を受講し、自分の不得意分野を把握して、それに向けての問題を解く力が身につく指導を行っています。

6月～2月（3年生対象） 就職内定者アドバイザー

就職活動を終了した学生による就職アドバイザー制度を設けています。常時就職指導課を拠点に、在校生への就職支援体制を整えています。



就職総合ガイダンス



SPI試験対策講座

7月・11月（3年生対象） 内定者報告会

就職内定者から、就職活動における基本的な活動・研究方法など、就職活動を終えたばかりのフレッシュな実体験・アドバイスを、これから就職活動を行う在校生に伝えます。

8月（3年生対象） 日本大学就職合宿

夏休みを利用し、2泊3日で実施。さまざまな業界の人事担当者による本番さながらの模擬面接や、履歴書講座、内定アドバイザーの報告会など、さまざまなプログラムを実施。

8月・12月（3年生対象） 模擬面接・グループ ディスカッション講座

本格的な模擬面接とグループディスカッションを体験し、講師から直接アドバイスを受けるまたとないチャンス！実体験することで確実に身につきます。

10月（2年生対象） 低学年キャリアデザイン講座

学生生活とキャリア、自分を知る、社会を知る、社会が求める能力を理解し、学びのための具体的な目標を設定させる講座。

10月（3年生対象） 就活基本準備セミナー

①自己PRの考え方と自己分析
②志望動機の考え方
③人事の視点で考える
志望動機や自己PRはどんなに完成されていてもそれが「その企業が望む人物像」とかけ離れては全く意味がありません。自己分析をより深め会社と仕事のミスマッチを防ぐ講座。

10月（3年生対象） 文章力強化セミナー

①自己PR編
②学生時代編
③志望動機編
ビジネスフィールドでの「伝わりやすい文章構成」と新卒の採用活動で評価する側が「何を知りたいと思っているかを」を理解することで、文章表現が豊かになる講座。

11月（3年生対象） 学内合同業界研究会

本学部生。短期大学部生のために5日間で約100社もの企業が集結し、ブース形式で業界説明を行います。授業の空き時間等を利用して、積極的に参加しましょう。

11月（3年生対象） 女子学生メイク・マナーセミナー 業界研究セミナー 仕事研究セミナー

12月（3年生対象） 公開模擬面接

企業の人事担当者が本番同様の面接を行います。見学することにより面接時の注意点を学びます。

2月（3年生対象） 日本大学合同 企業研究会・就職セミナー

日本大学の全ての学生を対象とした東京国際フォーラムでの大イベント。本学学生だけを対象とした合同企業説明会であり、積極的に採用したい企業が約200社集結します。



航空業界セミナー



国際関係学科 4 年
中村 綾香
内定先
大正製薬株式会社

「やって出来ないことはない、やらずに出来ることはない。」

私が就職活動において大切にしていたことは、「主体的に行動すること」です。なぜなら、自分の足を運び、目で見て、耳で聞き、そうして得た情報から意思決定をしていくことで、自分の最も納得いく結果を得られると考えるからです。

何千社もある企業の中から自分が行きたい企業を探すのは難しいことのように思えますが、逆に考えれば、沢山の可能性があるということです。内定はゴールではなく、その先何十年も続く将来への第一歩に過ぎません。悔いの残らないよう、少しでも興味のある企業には自ら足を運び、自分の目で確かめ、自分が最も輝ける場を見つけ出して下さい。

就職活動は、多くの人々との出会いや様々なビジネスの世界を知ることにより、自分の価値観や視野を広げる絶好のチャンスです。時には辛いこともあるかもしれませんが、周りの人への感謝の気持ちを忘れず、自らの成長を楽しんで下さい。何よりも“笑顔”が成功の秘訣です！



国際文化学科 4 年
川口 沙織
内定先
スルガ総合保険株式会社

自分に自信を持ち、前向きに取り組む！

私が就職活動を通して大切だと感じたことは、自分の「軸」をしっかりと持ち、自分に自信を持って前向きに行動をすることです。

「縁あるところに道はできている。」この言葉は就職活動中に、友人が私に掛けてくれた言葉です。面接で満足のいかない結果に思い悩む時にはこの言葉を思い返し、自分の軸に沿って企業を探し、セミナーに参加するなど積極的に行動に移してきました。その際に、満足のいかない気持ちを引きずっていると、人事の方に自分の気持ちを見破られてしまいます。だから私は、落ち込んだ時こそ気持ちを切りかえて、いかに前向きになれるかが大切なのではないかと考えました。そして、自らが積極的に行動するからこそ、自分と縁のある企業に出会うことが出来るのではないかと思います。

どんな時も、自分や、自分の今までの経験に自信を持ってください。そして、今出来ることを精一杯やってください。



国際交流学科 4 年
寶川 里奈
内定先
東海旅客鉄道株式会社

充実した学生生活を

私が就職活動を始めたのは夏の企業インターンシップが始まる 8 月でした。

夏頃から就職活動に焦りを感じ、大学での勉強との両立に苦しんだ時期もありました。しかし、学校での勉強も就職活動も全て自分で決めたことなので無理のない程度に頑張りました。

私は大学では大学でしかできないことをやろうと決めていたので、ゼミや教職課程の履修など様々なことにチャレンジしてきました。ですから、自分の大学生活には満足しており同時に自信もありました。私が受けた企業の面接では必ず“学生生活で力を入れたことは何か”という質問がありましたが、この質問は常に自信を持って答えることができました。

就職活動が本格化してくると焦って自分が今本当にやるべきことを見失いそうになることもあると思いますが、大学時代でしかできないことを大切にしてください。就職活動と関係ないと不安にもなるかと思いますが、充実した学生生活を送ることは就職活動の面接でも必ず生きてきますし、また自分の一生の財産にもなります！



国際ビジネス情報学科 4年
島袋 晃
内定先
住友林業株式会社

自分に信念と目標を持って

就職活動を通じて、私が大切だと感じた事は、自分に信念と目標を持つことです。まず信念を持つために必要となってくるのが、自己分析でした。自分の考え方や行動パターンを理解することで、自分に軸ができました。私の最優先の軸としていたことは「仕事を通じ1人でも多くの人に幸せや笑顔を与える」事でした。軸を持つことで、この会社は自分の価値観と共感できる会社なのか否かの判断がつくようになりました。次に目標を持つ事です。目標は人それぞれなので、「〇〇会社に就職する」や「就職活動を通じて〇〇な人間になる」などなんでも構いません。目標を設定することで、目標に向け何をしなければいけないのか、これから何をしていけば良いのか逆算することができます。

実際に、就職活動が佳境に入ると、落ち込む時期が来ると思います。しかし、その時に信念と目標を持っていれば自分を見失う事ありませんでした。

この二点を持つことで、迷いなく堂々と企業相手にもありのままの自分を出すことができました。

就職活動は自分の行動次第で良い方にも悪い方にも変化します。どんな時も自分に信念と目標を持って頑張ってください。



商経学科 2年
佐藤 美桜
内定先
富士信用金庫

就職活動は人との繋がり

就職活動で大切だと思ったことは人との繋がりです。活動を通して私はたくさんの人に支えられていると実感することが出来ました。

就職活動を始めた頃、志望業界についての知識も少なく、自分自身についてもどのように表現したら良いのか分からない状態でした。しかし、迷った時や上手く考えがまとまらない時、ゼミの先生や就職指導課の方々とお話すことで、考えを整理できました。その中で、自分の長所は何か、自分は就職してから具体的に何をしたいのかを考え、自己PRや志望動機をまとめていきました。また、友達とお互いの就職活動や考えについてたくさん話し、たまには羽を伸ばし気分転換することで、まだ頑張れる！と思うことが出来ました。

就職活動中は不安を感じることが多いですが、自分自身について深く考え、多くの人と繋がることができる機会だと思います。就職活動を通してきっと成長できると、前向きに考えて頑張ってください。



食物栄養学科 2年
満間 恵子
進学先
短期大学部専攻科食物栄養専攻

管理栄養士を目指して

専攻科へ進学しようと思ったきっかけは、管理栄養士の資格がとれると知ったからです。また、栄養士よりも管理栄養士になったほうが職の場が広がるということも、きっかけの1つです。

そして、進学すれば、短大卒業後、管理栄養士国家試験受験資格に必要な実務3年間のうち、2年間は専攻科で勉強だけに集中できることを魅力的に感じていました。このことは、短大1年生の頃からわかっていたため、専攻科への進学は、早い時期から決めていました。短大1年生のころは、レポートやテストをこなすのに精一杯だったため、本格的な入試勉強は2年生になってから始めました。入試勉強は先輩から過去問を教えてもらい、過去問をひたすら繰り返し勉強していました。問題のほとんどが1年生の授業内容であったため、早い時期から進学を決めているのなら尚更、短大1年生の頃からコツコツと勉強しておくことが大切だと感じました。



専攻科食物栄養専攻 2年
吉田 優花里
内定先
ワタミの介護(株)

「軸」を大切に、自分らしく楽しんで！

私は専攻科1年の夏休みから就職活動を始めました。大学入学前から「介護施設の栄養士になる！」という目標を持っていましたが、視野を広げるために夏休み中は毎週合同企業説明会に参加し、様々な企業のお話を聴いて回りました。

就職活動中に私が心がけた事は「笑顔で楽しむ」事です。就職活動は選んで頂くだけでなく、自分も企業を選ぶ立場にいます。中でも選考はより良く相手を知れるチャンスです。特に面接では「会話を楽しむ」という気持ちで挑み、企業の雰囲気を感じられるよう心がけました。また、就職活動中に最も苦戦し時間を割いた事は「自己分析」です。自己分析をする事で、自分が本気で栄養士として働きたいという事や意外な一面を知る事ができました。また自分の中にしっかりとした「軸」ができるため、活動に迷いがなくなり効率よく動く事ができました。

就職活動は大変多くの事を学べる貴重な期間です。辛い時もありますが、たくさんの初体験を楽しんで自分らしく頑張ってください。

国際関係学部

建設業

東京セキスイハイム(株)
タマホーム(株)
積水ハウス(株)
(株)安部日鋼工業
りんかい日産建設(株)
大東建設(株)
荏原テクノサーブ(株)
(株)オンテックス

製造業

福島製鋼(株)
大和冷機工業(株)
小糸工業(株)
横浜ゴム(株)
大塚製薬(株)
三菱電機(株)
日井国際産業(株)
伊藤ハム(株)
(株)ROKI
(株)シーボン
(株)エービーシー・マート
(株)小田原機器
サーモス(株)
ヨネックス(株)
美津濃(株)
旭化成ファーマ(株)
(株)ピステ
(株)伊藤園
(株)クラウン・パッケージ
米久(株)

電気・ガス・熱供給・水道業

新発田ガス(株)
昭島ガス(株)

情報通信業

(株)SPGホールマン
トランス・コスモス(株)
上海欧計斯軟件有限公司
ソフトウェア興業(株)
コンピュータロン(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)

運輸業

富士急行(株)
(株)ニッコウトラベル
東日本旅客鉄道(株)
(株)ユーラシア旅行社
(株)朝日旅行
クラブツーリズム(株)
トラノコム(株)
東京地下鉄(株)
(株)農協観光
近畿日本ツーリスト(株)
国際空港事業(株)
福島交通(株)

卸・小売業

(株)日伝
協和医科器械(株)
(株)ヨドバシカメラ
イワニガスネットワーク(株)
山形日産自動車(株)
(株)かねまつ
ラディクス(株)
トヨタカローラ栃木(株)
国際紙パルプ商事(株)
因幡電機産業(株)
(株)アルペン
(株)マルヤ
(株)ベイシア
リコージャパン(株)
マックスバリュ東海(株)
(株)ジャクエツ
イノテック(株)
ヤオマサ(株)
(株)イーエフシー
(株)ケーヨー
(株)ノジマ
リコービジネスエキスパート(株)

トヨタカローラ南茨城(株)
(株)yamanaka
(株)アイランド
(株)メガネトップ
(株)日比谷花壇
(株)エス・ティー・シー
栃木ダイハツ販売(株)
アストラゼネカ(株)
中北薬品(株)
(株)ユナイテッドアローズ
伯東(株)
パナソニックテレコム(株)
(株)ベイクルーズ
(株)やまと
(株)クロスカンパニー
関東日本フード(株)
(株)セント・リングス
ブックオフコーポレーション(株)
(株)ハピネス・アンド・ディ
(株)ピーシーデポコーポレーション
(株)新宿高野
(株)ジャパンビバレッジ
(株)ヨークベニマル
(株)中央コンタクト
ディーブエックス(株)
(株)高田薬局
富士ゼロックス多摩(株)
(株)宮田
コニシ産業(株)
日本ビジネスシステムズ(株)
(株)綿半ホームエイド
タイヘイ(株)
飯田工業薬品(株)
ネットトヨタ群馬(株)
(株)ユーシン
(株)ジーフット
リコーテクノシステムズ(株)
(株)ガリバーインターナショナル
(株)ラッシュ
(株)光通信
(株)ファミリーマート
(株)ヒロインターナショナル
(株)ケーユーホールディングス

金融・保険業

(株)静岡銀行
(株)清水銀行
(株)栃木銀行
(株)足利銀行
(株)きらやか銀行
三島信用金庫
静岡信用金庫
富士宮信用金庫
結城信用金庫
世田谷信用金庫
朝日信用金庫
館山信用金庫
横浜信用金庫
昭和信用金庫
茨城県信用組合
(株)商工組合中央金庫
第一生命保険相互会社
日本生命保険相互会社
(株)日本生命東京保険代理社
岡三証券(株)
東海東京証券(株)
みづほインベスターズ証券(株)
SMBCFレンド証券(株)
(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング
豊商事(株)
(株)フィナンシャル・エージェンシー
プロミス(株)
全国共済農業(協組連) 群馬県本部

不動産業

(株)ライヴエックス
東急リパブル(株)
(株)ミニミニ
(株)イシバシプラザ
東電用地(株)
湘南リビングセンター(株)
(株)クレアスライフ
(株)東海ビルメンテナンス
正生会

群馬土地総合販売(株)
(株)第一不動産
ホンダ開発(株)
明和地所(株)

飲食店・宿泊業

ルートイン・ジャパン(株)
リゾートトラスト(株)
シダックス(株)
(株)ホテル銀水荘
中条商事(株)
(株)静岡中島屋ホテルチェーン
関西観光開発(株)
(株)ハブ
(株)時之栖
(株)モンテローザ
西洋フード・コンパスグループ(株)
かもんフードサービス(株)
(株)SEED-TANK
(株)ローズホテルズ・インターナショナル
(株)坂東太郎
(株)ホテルニューアカオ
(株)ハイデイ日高
(株)萬家
ワタミ(株)
観音温泉(株)
(株)ダイヤモンドダイニング
(株)ゼンショー

福祉・医療

(社福) 湖成会 伊豆熱海の郷
東京海上日動サミュエル(株)
(株)ベネッセスタイルケア
セントケア・ホールディング(株)

教育・学習支援業

東京都教育委員会
千葉県教育委員会
(学) 日本大学
(株)秀英予備校
(株)慈友塾
(株)鷗州コーポレーション
日本大学三島高等学校
(学)藤田学園
明徳学園 相洋中学・高等学校
(株)マジオネット
(株)中萬学院
(学)沼津学園 飛龍高等学校

複合サービス業

郵便局(株)
郵便事業(株)
伊豆の国農業協同組合
富士宮農業協同組合
あいら伊豆農業協同組合
三島函南農業協同組合
大井川農業協同組合
マインズ農業協同組合
ながの農業協同組合
北つくば農業協同組合
とうかつ中央農業協同組合
となみ野農業協同組合
静岡県信用農業(協組連)
JAにしみの

サービス業

(株)エアサーブ
(株)ダイナム
(株)シンカーミクスル
(株)ゲオ
(株)マルハン
静銀ビジネスクリエイト(株)
浜友観光(株)
(株)インテリジェンス
(株)あすかインターナショナル
(株)ダスキン
(株)ガイヤ
(株)エスクリ
(株)ジョイパック
(株)韓進インターナショナルジャパン
(株)ラストリゾート
(株)アルカンシェル
(株)鉄人化計画
(株)ニチイ学館

長野興産(株)
スルガスタッフサービス(株)
北関東総合警備保障(株)
(株)サイバーエージェント
三井住友ファイナンス&リース(株)
(株)京急ビジネス
(株)日本ケアサプライ
(株)読売情報開発

公務

栃木県庁
沼津市役所
三島市役所
裾野市役所
島田市役所
柏崎市役所
茅ヶ崎市役所
長泉町役場
御殿場市小山町広域行政組合
警視庁
神奈川県警察本部
千葉県警察本部
埼玉県警察本部
茨城県警察本部
福島県警察本部
新潟県警察本部
佐賀県警察本部
筑西広域市町村圏事務組合消防本部
芳賀地区広域行政事務組合消防本部
防衛省 陸上自衛隊
防衛省 航空自衛隊

短期大学部 (三島)

製造業

(株)ヤクルト本社
ワールドワイドフーズ(株)
サンワフーズ(株)

運輸業

都倉産業運輸(株)
王子運送(株)

卸・小売業

(株)大西
シンワオックス(株)
(株)富士管材機器
フジ産業(株)
興和(株)
(株)ドルセ
(株)ノジマ

飲食店・宿泊業

東日クッキング(株)
雄大(株)
エームサービス(株)
トラットリアギヘイ

福祉・医療

(医) 財団百葉の会 湖山病院
(医) 社団志仁会 関病院
(医) 社団三宝会 ルンビニ第2保育園
桑名眼科クリニック
(社福) 信静会 函南さくら保育園
(社福) 富岳会
中伊豆温泉病院
(社福) 春風会
古字養護老人ホーム遊法苑
(社福) 栄和会 仁田マーガレット保育園
(株)愛生保育園
(社福) 光明福祉会ひな保育園

教育・学習支援業

(学) 日本大学医学部
(株)ドルセ
(株)東京ワールド外語学院
創富士社会教育センター

複合サービス業

清水農業協同組合

サービス業

(株)フェイバリット